

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 殿

福岡県病虫害防除所長

平成26年度病虫害発生予察速報第1号について

このことについて、病虫害発生予察速報第1号（ナシ赤星病）を発表したので送付します。ナシ赤星病菌の飛散のピークは前年並の4月1半旬頃と予想されるので、適期防除の指導をお願いします。

速報第1号

果樹

- 1 対象作物：ナシ
- 2 病虫害名：赤星病
- 3 発生地域：県下全域
- 4 ナシへの感染最盛期：4月1半旬（前年並）
- 5 速報の根拠
 - (1) 県下4地点のナシ園周辺ビヤクシンにおける、3月28日～31日のナシ赤星病菌冬孢子堆調査の結果、膨潤率は88.3%、成熟度は49.5と前年並みである（第1表）。
 - (2) 4月1日起算の「冬孢子堆発芽最多期予想の回帰式（福岡県立園芸試験場、昭和45年）」によると、小生子の飛散ピークは4月2日頃（前年4月3日頃）と予想され、前年より1日程度早い（第2表）。
 - (3) 発芽期は、「幸水」「豊水」ともに前年より2日遅く、平年より4日早い。開花始めは、「豊水」は前年より1日遅く平年より7日早い（第3表）。
 - (4) 福岡管区气象台3月27日発表の1か月予報では、平均気温は平年より高く、降水量は平年より少ないと予想されている。
- 6 防除上の注意等
 - (1) 冬孢子堆の成熟は3月下旬以降急激に進んでおり、今後の降雨によってさらに進む恐れがあるので、週間天気予報で降雨日を把握し、適期防除に努める。
 - (2) 防除に当たっては、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守し、周辺圃場への飛散防止対策を講ずる。

第1表 バクシンにおけるナシ赤星病菌冬孢子堆の成熟状況（水浸法）

年次	平成26年			平成25年		
	調査日	膨潤率(%)	成熟度	調査日	膨潤率(%)	成熟度
朝倉市	3/24	14.8	3.7	3/22	31.8	8.6
	3/31	98.3	53.3	4/1	66.9	22.6
八女市	3/24	49.6	14.0	3/21	32.6	11.6
	3/28	82.3	40.0	3/26	74.3	28.5
広川町				4/1	97.1	45.1
	3/24	44.4	14.1	3/21	26.5	6.6
	3/28	73.8	31.6	3/26	87.6	31.0
筑紫野市				4/1	90.7	43.9
	3/24	51.3	14.6	3/22	51.8	21.9
	3/31	98.6	73.1	4/1	86.0	45.1
	3月下旬	40.1	11.6	3月下旬	50.8	18.0
	3/28～ 3/31	88.3	49.5	4月上旬	85.2	39.2

注1) 膨潤率 = (A+B+C+D) / 孢子堆数 × 100

注2) 成熟度 = [(4A+3B+2C+D) / (4 × 孢子堆数)] × 100



写真 バクシン上における赤星病冬孢子堆

<冬孢子堆膨潤程度>

- A: 冬孢子堆が外観的に完全に膨張する。
- B: 一部未膨潤冬孢子堆を残す
- C: 約50%未膨潤冬孢子堆を残す
- D: 一部膨らむ
- E: すべて無膨潤である

第2表 冬孢子堆発芽最多期予想の回帰式計算結果

計算式	平均気温
$Y = 59.726 - 4.952X$ $= 1.7$ <p>Y: 4月1日起算の最多期までの日数 X: 3月3半旬～6半旬の平均気温</p>	平成26年 3月3半旬: 8.4℃ 3月4半旬: 12.7℃ 3月5半旬: 10.6℃ 3月6半旬: 15.1℃ * 3月3半旬～6半旬の平均 11.7:℃

注1) 平均気温は太宰府アメダスの値を使用。

第3表 農業総合試験場（筑紫野市）におけるナシ生育状況

3月31日現在

品種	年度	発芽期	本年との比較	開花期					
				開花 始め	本年と の比較	開花 盛期	本年と の比較	開花 終期	本年と の比較
幸水	本年	3/21	—	—	—	—	—	—	—
	前年	3/19	2日	4/2	—	4/5	—	4/12	—
	平年	3/25	-4日	4/9	-7日	4/11	—	4/18	—
豊水	本年	3/21	—	3/30	—	3/31	—	—	—
	前年	3/19	2日	3/29	1日	3/31	—	4/7	—
	平年	3/25	-4日	4/6	-7日	4/9	—	4/16	—

1) 平年：平成5年～平成24年の平均。

2) 本年との比較は、平年比、前年比を早い場合は-〇日、遅い場合は+〇日で示す。

3) 開花始め：全体の20～30%の花が開花した日

開花盛期：全体の80%の花が開花した日

開花終期：全体の20～30%の花が散った日